

環境学委員会 環境思想・環境教育分科会  
環境教育の思想的アプローチ検討小委員会（第25期・第4回）  
議事要旨

日時：2022年10月20日（木）15:00～17:00

会場：オンライン会議

参加者（敬称略・五十音順）：清野未恵子，黒田一雄，重藤さわ子，高田知紀，豊田光世，  
二宮咲子

オブザーバー：工藤由貴子，日置光久

欠席：蟹江憲史，永井三枝子，野田真里

\*委員9名中6名の出席により会議は成立した。

議題：

1. 前回委員会のふりかえり

豊田委員より，前回委員会の報告内容のふりかえりと共有がなされた。

2. 二宮委員の報告

二宮委員より，小田原市で手掛けている耕作放棄地再生に向けた「小田原みかん農園再生プロジェクト」を事例として，地域課題解決を大学教育の場として活用することについての報告が行われ，報告内容をもとに他の委員との質疑応答がなされた。

報告内容のような，地域のボトムアップの良い取り組みをどう面的にとらえて地域ガバナンスに活かしていくのか，SDGsのような国際的ムーブメントが大学教育にどのような影響を生み出しうるのか，地域の意志を大切にしたい取り組みにつなげるために大学がどのように関わっていくかなどの意見について議論を行った。

3. 豊田委員の報告

対話を通して哲学的思考を深める「子どもの哲学 (p4c)」という教育の理論・手法をもとに，価値について考え議論することに焦点を当てた環境教育の意義について報告がなされた。具体的な取り組みとして，持続可能性にかかわる問いの探究をカリキュラムの中心に据えた「SEEQS (米国ハワイ州)」の事例が紹介され，他の委員との質疑応答がなされた。

価値が明確に示されている SDGs において対話型の教育はどのような意味をもちうるのか，こうした教育が多くの人にリーチすることで全体への底上げにつながるためには何が必要かなどの論点について意見交換を行った。

4. 今後の活動

これまでの小委員会の議論をもとに，論点・フォーカスを整理し，シンポジウムの開催を

検討する。

次回は、12月ごろ3時間の開催とし、黒田委員、重藤委員の報告とする。

以 上